

化学委員会・物理学委員会合同結晶学分科会（第26期・第5回）
化学委員会 IUCr 分科会（第26期・第5回）合同分科会 議事要旨

日 時：令和7年12月22日（月） 16:00～17:00

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：井上 豪^{†*}、片岡 幹雄^{†*}、上村 みどり^{†*}、栗原 和枝^{†*}、黒田 玲子^{†*}、腰原 伸也[†]、
小島 優子[†]、菅原 洋子^{†*}、富永 依里子[†]、中川 敦史^{†*}、南後 恵理子^{†*}、難波 啓一^{†*}、西野 吉
則^{†*}、西堀 麻衣子[†]、福島 孝典[†]、森吉 千佳子^{*}、山下 敦子[†]
欠席者：秋山 修志[†]、大友 季哉[†]、奥野 恭史[†]、奥部 真樹^{†*}、富安 亮子[†]、野田 岳志[†]
（[†]結晶学分科会委員、^{*}IUCr 分科会委員）

【IUCr 分科会】

1) IUCr Bragg Prize 推薦について

中川 IUCr 分科会委員（第26期 IUCr 分科会委員長）より、IUCr Bragg Prize 推薦に関する検討状況について報告があった。複数の候補者について審査が行われた結果、中室貴幸氏（東京大学）および寺澤有果菜氏（熊本大学）の2名が日本からの最終推薦候補として選考されたことが説明された。今後の推薦手続きについて確認が行われた。

2) IUCr 2026（カナダ・カルガリー）について

2026年にカナダ・カルガリーで開催予定の IUCr 総会について、参加登録の受付が開始されていることが共有された。今後のスケジュール等について情報共有が行われた。

3) AsCA2025 実施報告

AsCA2025 の実施状況について報告があった。関連する国際会議の動向や、若手研究者支援の枠組みについても補足説明がなされた。

【結晶学分科会、IUCr 分科会共通議題】

1) 公開シンポジウム実施報告

2025年7月20日に開催された合同分科会公開シンポジウム「持続可能な未来を築く物質・構造・機能～資源リサイクル、カーボンニュートラル、食物問題の解決に向けて～」に関する実施報告が行われた。当日の運営状況について共有がなされるとともに、記録・録画作成に関して技術的な問題が生じたことが説明された。今後は、講演資料等を活用した簡易的な記録作成を行う方針について確認がなされた。

2) その他

・日本学術会議の法人化を踏まえて、IUCr 分科会および結晶学分科会の存続および将来的なあり方について議論が行われた。物理・化学・生物の融合領域をカバーする分科会としての結晶学分科会の重要性が改めて確認された。分科会名称の変更の是非についても意見交換が行われたが、当面は現行の名称を維持しつつ、活動を継続し、国際連携を引き続き重視していく方針が共有された。

・日本学術会議会員であった佐々木園委員の逝去に伴い、小島優子委員が後任会員として選出されたことが報告された。これに伴い、小島優子現結晶学分科会委員を IUCr 分科会メンバーに加えることが承認された。また、IUCr 分科会において、後任の副委員長として南後恵理子委員、さらに後任の幹事として小島優子委員（結晶学分科会幹事も兼務）が就任することが承認された。

以上